

# 総合人間学部同窓会企画 説明資料

第1章:私の紹介と皆さんへのアドバイス

- ①自己紹介
- ②会社の紹介
- ③私の人生 これまでとこれから
- ④皆さんへのアドバイス

第2章:就職活動の手引き

※本資料の著作権は筆者にあり、無断転載を禁止します。

※本資料の情報が全て正確である保証はしません。

※本資料に書かれているいかなる内容に関し、筆者は責任は持ちません。

2006年12月17日  
総合人間学部第3期卒業生  
山崎 幸一

# 第1章

## 私の紹介と皆さんへのアドバイス

## ①自己紹介

名前： 山崎幸一（31歳）

出身： 大阪府茨木市（茨木高校卒）

大学： 総合人間学部 自然環境学科 物質環境論専攻 99年3月卒業

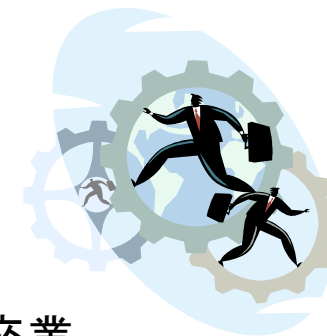
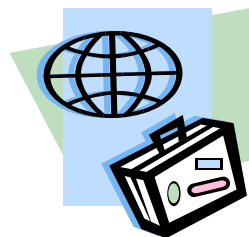
仕事： 松下電器産業株式会社 生産革新本部 生産コア技術研究所  
環境生産技術開発グループにて 技術開発に従事

家庭： 滋賀県大津市在住（妻、長男）

趣味： アルティメット、剣道、スポーツ全般

将来の夢：

「人間が住みやすい今の環境を維持するための  
環境低負荷型社会を実現すること」



2006年の8月に会社の同期で出た24時間リレーマラソン

# ②会社の紹介(1/2)

社名:松下電器産業株式会社

本社:大阪府門真市

資本金:2587億円 売上高:約8.9兆円/年

従業員数:331,557名(連結)

### 2006年度中間期 連結業績

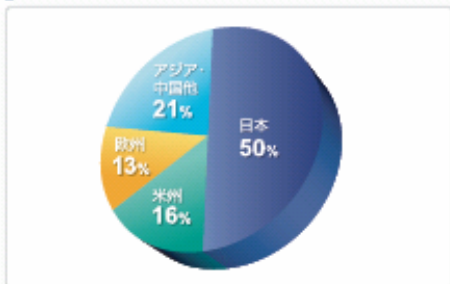
売上高	4兆3,895億円 (前年比 103%)
営業利益	2,074億円 (前年比 121%)
当期純利益	1,151億円 (前年比 179%)

### 2006年度年間 連結業績見直し

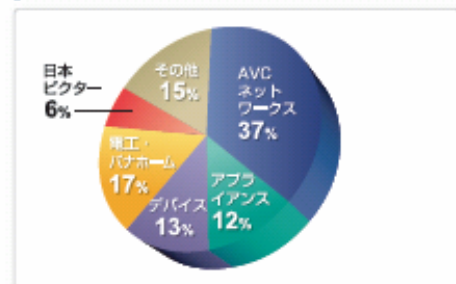
売上高	8兆9,500億円 (前年比 101%)
営業利益	4,500億円 (前年比 109%)
当期純利益	1,900億円 (前年比 123%)

(2006年10月27日現在)

### 2006年度中間期 地域別売上高



### 2006年度中間期 セグメント別売上高\*



\*売上高構成比は、セグメント間取引を含んでいます。



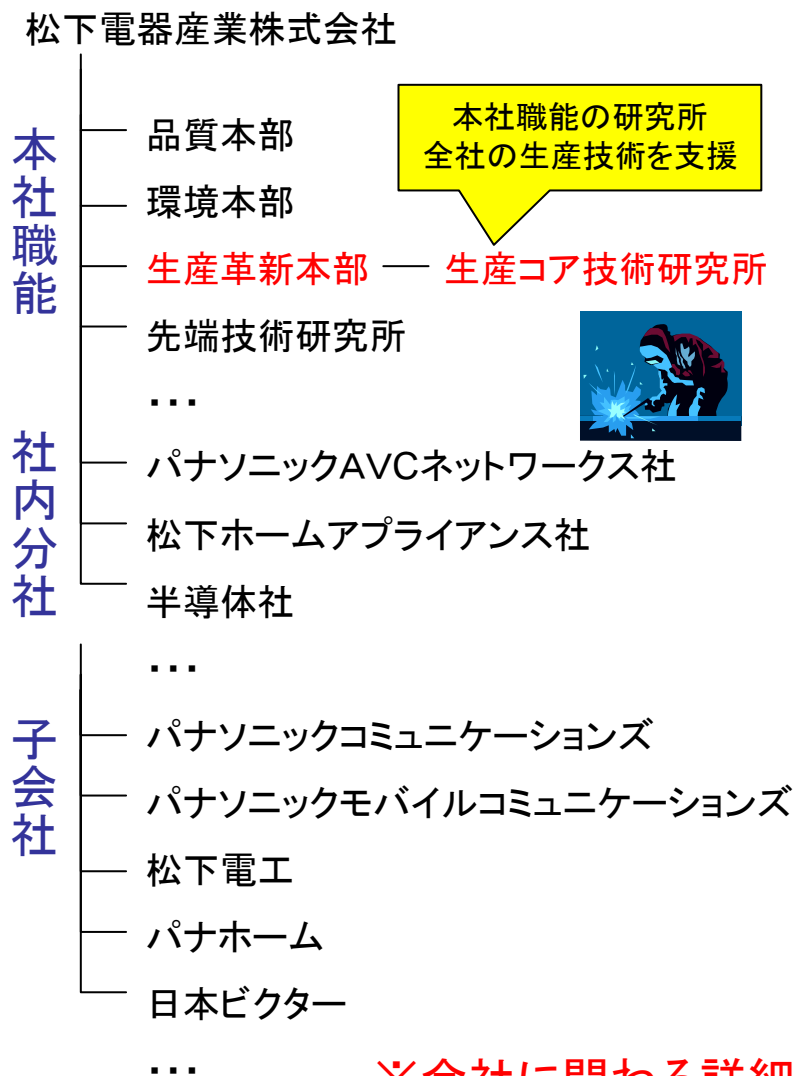
Nationalブランド・・・国内で松下ホームアプライアンス社、電工などが使用  
Panasonicブランド・・・PAVC社、PMC社、PCC社などその他多数が使用





## ②会社の紹介(2/2)

### ■私の所属



### ■新入社員が気になる情報

#### ●社風

- …創業者の精神が息づく  
(綱領、信条、七精神)
- …「モノをつくる前に人をつくる」  
(人を大切にする会社)

#### ●福利厚生

- …独身寮(1.5万円/月程度)、社宅あり
- …積立金関係の制度は過渡期  
(個人が運用する時代に)
- …退職金前払い制度あり

#### ●Eチャレンジ制度

- …入社3年以上経過後、部署異動希望が出せる。

#### ●勤務

- …多くの職場がフレックス勤務、完全週休2日
- …年休、有休は取りやすいほう  
(労働組合が比較的強い)

※会社に関わる詳細は直接ご確認ください。

## ③私の人生(これまでとこれから)

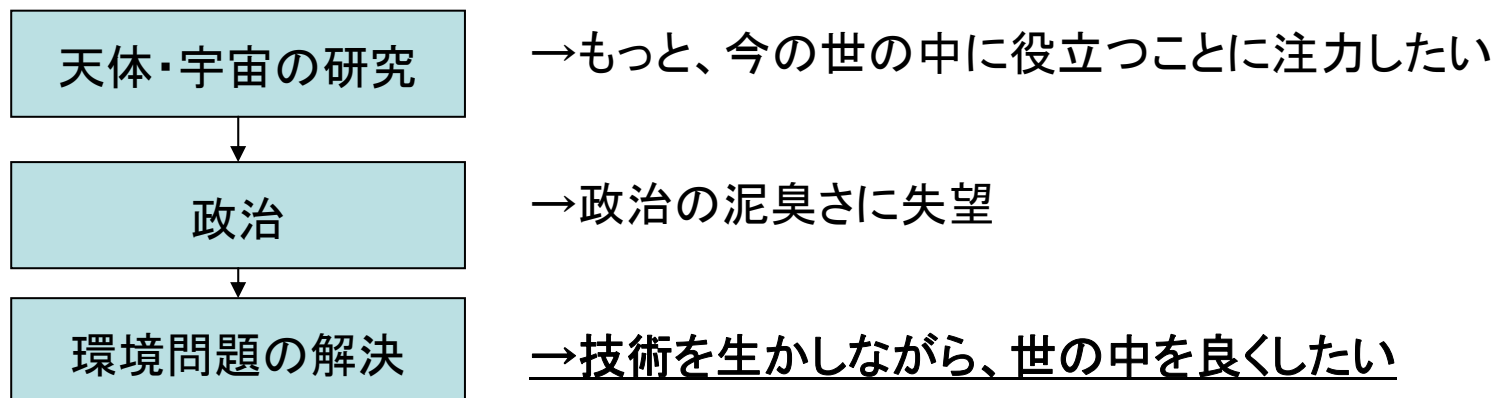
### ■ 中学・高校時代 心身鍛錬

- ・部活は剣道部
- ・生徒会長、体育祭団長などに燃える
- ・映画「風の谷のナウシカ」に感動
- ・天体、宇宙に興味があり、理系選択 → 理学部物理学科を受験



### ■ 浪人時代(1年) 人生の方向を決断

- ・自分が目指す道についてよく考えた。



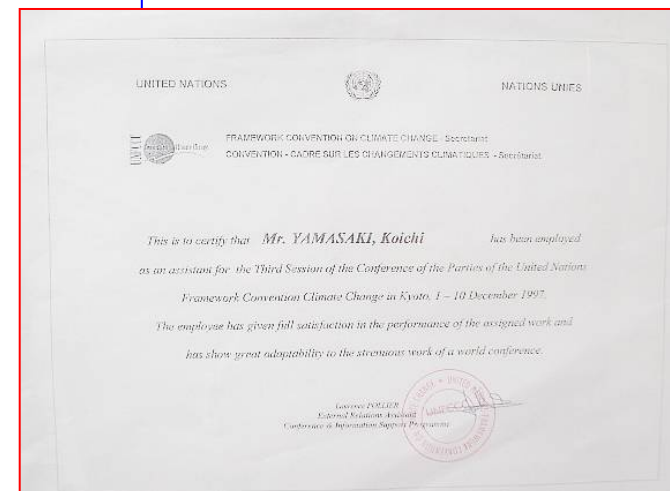
**➡ 文理融合の新設学部＝総合人間学部を受験**

## ③私の人生(これまでとこれから)

### ■大学時代

#### 「環境」の勉強

- ・1, 2年時は幅広い勉強を心がけ  
(化学、経済の授業を重視)
- ・3年から、専門:物質環境論の化学実験(週3日)  
副専攻:環境政策論のゼミ  
他学部の環境がらみの授業を聴講
- ・COP3(地球温暖化防止京都会議)  
各種セミナー・イベントに参加→資料収集  
外務省のアルバイトで京都会議のスタッフを務める
- ・4年時、就職活動、教育実習、大学院の授業の聴講  
卒論:無機固体化学・・・粉末X線回折、熱分析等習得  
就職活動での工場見学、大学院授業での原子力発電所の見学



97年12月地球温暖化防止京都会議

- ・サークル …アルティメットサークル”BREEZE” → クラブチーム”Tibets”創設(98)
- ・バイト …予備校チューター、家庭教師、病院当直、琵琶湖研究所、COP3、その他単発

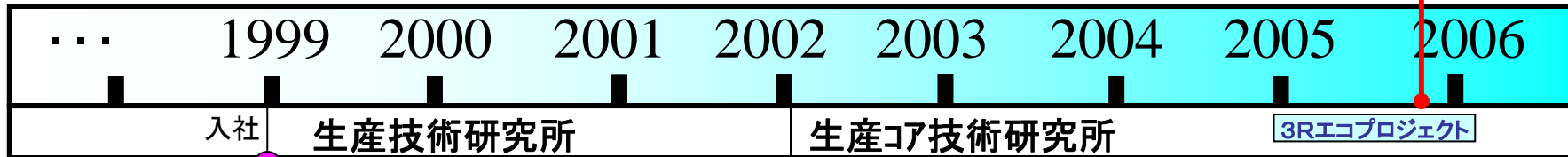
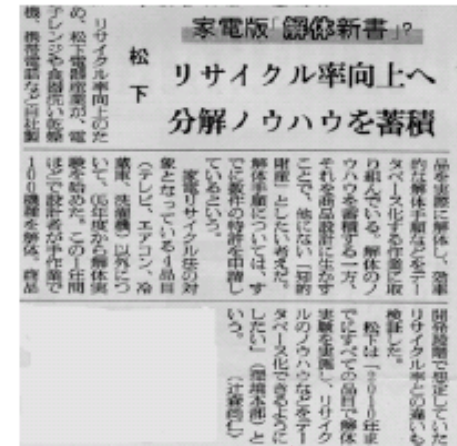


# ③私の人生(これまでとこれから)

## ■入社後

本気で自己啓発・実践

- ・工場実習、販売実習→仮配属
- ・生産技術系社員のための基礎技能研修「育成スクール」
- ・当初Mg合金成形技術担当→**03年度～環境生産技術**担当
- ・現在は工場の効率化の業務を担当



担当分野	研修	金属成形(Mg合金プレス)	リサイクル技術 3R性評価技術	源泉在庫削減
------	----	---------------	--------------------	--------

特許出願	●Mg関係特許21件出願 (うち筆頭9件 海外1件)	●冷蔵庫VIP 関係特許5件出願	●3R特許 4件出願	●非公開 1件出願
------	-------------------------------	---------------------	---------------	--------------

取得資格	★機械製図2級 ★危険物甲種 ★X線作業主任者 ★公害防止管理者 (水質1種、ダイオキシン) ★初級シフト ★工業英検2級	★環境計量士 (濃度) ★福祉住環境 コーディネーター2級 ★技術士補 (環境)	★エネルギー管理士 ★2種冷凍機 械責任者	★環境計量士 (騒音) ★家電製品 アドバイザー	TOEIC最高905点
------	---	---	-----------------------------	-----------------------------------	-------------





## 単位面積からの空気への熱の移動について

本からの情報

● 表面熱移動量Q・・・1時間あたりに表面から移動する熱量 (kcal/h)

$Q = Q_p + Q_r =$  対流による熱移動 + 放射による熱移動

対流

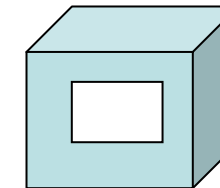
$$Q_p = \{0.25 + 360 / (T_2 + 360)\} \cdot F \cdot (T_2 - T_0)^{4/3}$$

放射

$$Q_r = 4.96 \cdot F \cdot \varepsilon \left[ \left\{ \frac{273 + T_2}{100} \right\}^4 - \left\{ \frac{273 + T_0}{100} \right\}^4 \right]$$

F: 表面積(m<sup>2</sup>)・・・表面露出部分面積      T<sub>0</sub>: 外気(空気)温(°C)      T<sub>2</sub>: 対象物温度(°C)

ε: 放射率(吸収率)・・・黒体を1.0とする。酸化した機械加工面0.8~0.9。ピカピカの研磨面0.04~0.05



※月刊「プレス技術」第20巻 第7号 より

伝導

$Q_t =$  伝導による熱移動

$$Q_t = h \cdot F \cdot \Delta t = h \cdot F \cdot (T_2 - T_0)$$

h: 空気の境膜伝熱係数(kcal/m<sup>2</sup>・h・°C)

F: 表面積(m<sup>2</sup>)・・・表面露出部分面積

【パイプ内の空気の境膜伝熱係数の求め方】

$$\frac{h \cdot d}{\lambda} = 0.0025 \times \left( \frac{d \cdot v \cdot \rho}{\mu} \right)^{0.8} \times \left( \frac{C_p \cdot \mu}{\lambda} \right)^{0.4}$$

ヌセルト数                      レイノルズ数                      プラントル数

空気の簡易式

$$h = 0.156 \times C_p \times (v \cdot \rho)^{0.8} \times d^{-0.2}$$

d: パイプ直径(m)    λ: 熱伝導率(kcal/m・h・°C)    C<sub>p</sub>: 定圧比熱(kcal/kg・°C)

μ: 粘度(kg/m・h)    ρ: 密度(kg/m<sup>3</sup>)    流速V(m/h)

※コストダウンのための金型温度制御 シグマ出版 p143より

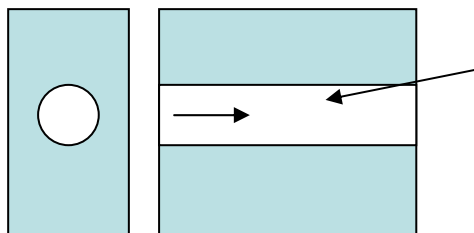
# 紹介事例：企業での開発

2006年12月17日

山崎

## 【仮定シミュレーション】

物体温度 $T_2$ :50°C 外気温 $T_0$ :15°C 輻射率 $\varepsilon$ :0.8 空気の流速 $v$ :2m/s (圧力1.2atm) と仮定



直径 $\phi$  100mmの穴が1メートル

表面積 $F=0.1 \times \pi \times 1=0.314$  (m<sup>2</sup>)

対流

$$Q_p = \{0.25 + 360 / (T_2 + 360)\} \cdot F \cdot (T_2 - T_0)^{4/3} = \underline{40.55 \text{ kcal/h}}$$

輻射

$$Q_r = 4.96 \cdot F \cdot \varepsilon \left[ \left\{ \frac{273 + T_2}{100} \right\}^4 - \left\{ \frac{273 + T_0}{100} \right\}^4 \right] = \underline{49.84 \text{ kcal/h}}$$

伝導

空気の簡易式

$$h = 0.156 \times C_p \times (v \cdot \rho)^{0.8} \times d^{-0.2}$$

$\lambda$ : 空気の熱伝導率=0.02kcal/m·h·°C

$C_p$ : 空気の定圧比熱=0.240kcal/kg·°C

$\mu$ : 空気の粘度=0.062kg/m·h (15°Cの時)

$\rho$ : 空気の密度=1.231×1.2kg/m<sup>3</sup> ←圧力が1.2として

$$h = 0.156 \times 0.240 \times (2 \times 3600 \times 1.231 \times 1.2)^{0.8} \times (0.1)^{-0.2} = \underline{98.8} \text{ (kcal/m}^2 \cdot \text{h} \cdot \text{°C)}$$

$$Q_t = h \cdot F \cdot (T_2 - T_0) = \underline{1085.9 \text{ kcal/h}}$$

圧倒的に伝導による熱伝達が多い

$$Q_t = h \cdot F \cdot \Delta t$$

※hは流速Vの0.8乗に比例

熱効率を上げる→①境膜係数を上げる(流速を上げる) ②表面積を大きくする ③温度差をつける

使える情報を使い、スピードを持った活動が重要

## ③私の人生(これまでとこれから)

■これから 結果を残して、社会に貢献する

将来の夢:

「人間が住みやすい今の環境を維持するための環境低負荷型社会を実現すること」

**信念:「環境配慮と豊かな暮らしは、技術によって両立する」**

【私のライフプラン】

●2010年まで

現在の仕事で結果を出す+自分の能力を高める

●2010年以降

夢を実現できる環境を作り出し、結果を出し続けていく

●50歳になったら

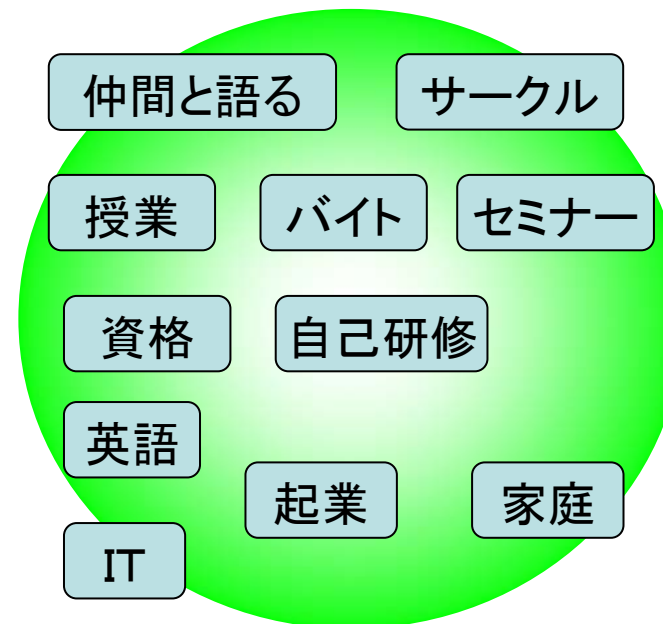
社会のしくみの改革、人材育成に注力

## ④ 皆さんへのアドバイス

### ■ 総合人間学部の皆さんへ

充実した人生を送るためには… (一案です)

- 夢を見つける
- 夢の実現のために努力する
- 情報を集めて、行動を起こす
- 家庭を持つ



総合人間学部には多種多様な人(先生、友人)がいます。  
本気で語り合って、ネットワークを作るとともに、自分の将来像を描いていってください。

# 第2章 就職活動の手引き

※ここに書かれている内容は、私個人の感想・意見であり、本資料に書かれているいかなる内容に関して、筆者は責任は持ちません。

## ①就職活動と環境問題

### 【就職活動とは？】

#### ①仕事を獲得するための手段

→ 文字通り来年からの自分のありかたを決定する。

#### ②自分探しの旅

→ 多くの企業を回ることで、自分が本当に求めているものの姿が少しずつ明らかになってくる。

#### ③社会勉強

→ 企業見学やセミナーを通じて、社会のあり方について学習する。

\* 就職活動ではタイミングというのが非常に重要である。チャンスは普通一度しかない。



# ①就職活動と環境問題

## ＜企業の環境問題に対する意識＞

- ① 消費者の環境意識の高まり
- ② 全世界的な環境規制強化の流れ
- ③ 省資源省エネによるメリット



環境問題に積極的に取り組む企業が増加

企業にとって、環境に興味のある学生を採用するメリットはあるはず。

## ＜就職してから環境に貢献するには？＞

- ・イメージだけで判断することの危険性
  - 本当に環境に貢献したければ、最も環境汚染している会社に行けばいい。
- ・理想の社会像を掲げるだけでは実効性がない
  - その会社でできることをよく調べ、将来どういう仕事をやりたいかよく考える。
- ・狭い視野になっていないか
  - 環境以外の分野の知識や技術を習得することも必要。  
(各種専門技術や経営の基本など。)
- ・仕事以外でも貢献できる → 地域の活動やNGOの活動など

## ②就職活動の手順(私の場合)

### <私が就職活動するに当たり決めていたこと>

- ・大学院へは行かずに卒業する。
- ・「環境」にかかわる仕事のできる企業(メーカー)に就職する。
- ・関西に拠点のある一般企業を志望。
- ・公務員試験はうけない。
- ・できるだけ技術系(理系)としての採用枠にはいる。

メーカーを希望した理由

- ①ものづくりの現場
- ②環境問題の当事者

### <私の就職活動記録>

(時期)	(活動)
11月頃	就職情報誌出版社からのハガキを出す。
年末年始	就職情報誌が大量に届く。(主にリクルート、毎日、日経)
1月～2月	情報誌の中で自分の志望する企業に「資料請求のハガキ」を出す。(私の場合70～80枚ほど。) また、独自に買った会社年鑑などから志望企業を探し出し、資料請求する。
2月～3月	企業側から続々と会社試料が届く。
3月初旬	会社側からセミナーの知らせや、面接の知らせ、工場見学の案内などが送られてくる。
3月下旬～	セミナーや面接、工場見学に参加。試験もある。(一般教養。SPI、理系は専門試験など。)
4月～	企業セミナーや面接に参加する。早いところでは面接も二次面接・三次面接に入る。(技術面接も) 大手企業のフリーエントリーなどがはじまる。
5月初旬	三次面接がはじまる。(最終面接も企業によって様々。)
中旬	内定が出始める。 →「引き延ばし」など。
下旬	内定した企業から行きたいところを絞る。(6月初旬教育実習で就職活動は中断)
6月下旬	他社内定を断り、一社に絞る。

## ③面接の注意点

■面接はやはり緊張する。短い時間でいかに自分をアピールするかが重要なポイント

### <面接で聞かれる主なこと>

- **志望動機**・・・なぜこの会社を志望したか。事前にパンフを読み、知識を蓄えておけばよい。自分の言葉で話す。
- **自己アピール**・・・自分の特徴(良い点悪い点)をあげる。性格面や特技などから自分をアピール。
- **大学で一番取り組んできたこと**  
クラブでもバイトでもいい。とにかく一生懸命にやってきたと、アピールするべき。  
その中でどのようなことを学んできたかも伝える。
- **大学で今の専攻を選んだ理由**  
昔から持っていた興味、夢などを語ればいだろう。
- **この会社に入って何をやりたいか、この会社のどういう点が好きか**  
自分の夢と、会社でできることとの関連性を調べておけば、話せるはず。  
会社側は入社希望度を調べる尺度などに使ってくる。
- **突拍子もない質問**  
「もし希望の職種に就けないとしたらどうする?」とか、「不景気のあおりをうけてわが社が倒産寸前になったらどうする?」といった類の質問。  
企業側は、何か起きたときの事態の処理能力を見るためにこのような質問を用意している場合がある。解答の内容より、ひるまずにきちんとした態度で考えを伝えられるかがポイントになってくる。
- **他社の受験状況とこの会社の志望順位**  
業界にも寄るが他社の受験状況は「そこより上位の企業は隠す」方がよいと場合もある。(公務員試験も)  
志望順位はまず、「第一志望」としておくべき。

\* その他、女子の場合は「結婚したらどうするか?」という質問が結構あるらしい。(昔の話)  
また、「最近読んだ本は?」「最近感銘を受けたことは?」などの質問もある。

## ③面接の注意点

### <面接での注意点>

- **相手の目を見て話す** うつむいているだけでマイナス。睨むくらい見ていい。
- **一聞かれたら一返す**  
色々考えて来るとついついしゃべりすぎてしまうことが多い。一つの質問に対して一つの答えを簡潔に。
- **アメリカ式しゃべり方** 始めに言いたいポイントの個数をあげる。
- **堂々とした態度**  
今までの学生生活や成績にあまり自信がなくても、堂々と話して自分らしさをアピールする。
- **ウソはつけ込まれる**  
ウソは突っ込まれたときにどうしようもなくなる。わからないことは素直にわからないと言う。
- **最低限のマナーは守る**  
服装、髪型、遅刻しない、入室方法、しゃべり方など。
- **こちらからの質問も用意しておく**  
「質問はないか？」と聞かれたときに聞きたいことを聞く。
- **資料を準備する**  
「大学で何をしてきたか5分でプレゼンせよ。」とか、「3分間で自己アピールせよ。」といった形式の面接もしばしばある。資料を用意しておき、面接官に配布するなどすると効果的。
- **事前に企業の資料をよく読んでおく**  
自分の夢と企業の中で果たせることとをリンクさせて話すことができれば、極めて良い印象を与える。
- **場数を踏んでおく**  
初回の面接は誰でも緊張する。多くの企業を回り面接に慣れておけば、ゆとりも持てる。  
(多くの企業にエントリーだけでもしておき、場数を踏むために使うのも手である。)
- **集団面接でも自分の言いたいことを素直に**  
集団面接で自分の前の人に自分の言いたいことを言われてしまっても、自分の考えていることを素直に堂々と言えばよいだろう。(他の人は気にしない。)

## ④理系学生に関する注意点

### <理系学生に関する注意点>

理系の就職と言えば(文系就職を除いて)研究室の紹介などで簡単に終わられるようなイメージがあるだろう。研究室によっては卒業生などのつてのあるところもあるが、工学部などに比べて他学部は不利な状態にある。それゆえ、理系でも教授や研究室に頼んでそこで簡単に就職を決めることは難しく、学部によっては文系並みに回ることも覚悟しておかなければならない。

しかし、最近では(特に大手が)理系でもフリーエントリー制度を導入しているところがある。そこで、大勢の中から勝ち上がっていけば、技術職採用のコースに入り込むことができる。

### \* 技術面接について

理系の多くが今や院卒である。そんな中、大卒で就職しようという場合はいかに自分の技術能力をアピールするかがポイントになる。卒論もテーマが決まったばかりだし、まだ何もやっていないのが現状である。しかし逆にまだ何もやっていないのだから「こういうことをやりたい。」「こういう研究成果が望める。」などと融通を利かせて話すこともできる。企業側も就職協定の廃止で就職活動が早まっていることは十分わかっているから、大卒理系採用者については研究に関する概要をだいたい述べられれば通用するのである。

## ⑤試験について

企業側は、学生の基礎能力を調べるために試験を課す場合がある。

・**一般教養試験**

時間内にやることにさえ注意すれば余裕の内容。  
国語や数学、英語などの基本問題。時間はぎりぎりか。

・**SPI(適性検査)** 性格判断のようなもの。あまり採用には影響しないはず。

・**企業の独自試験** これはその企業にいる先輩などに聞くしかない。

・**専門試験** 技術系採用でたまにある。院卒との差が出てしまう可能性がある。

\* その他、論文や作文が課せられることもある。

\* 試験は、業界によって様々な種類がある。

\* 多くの企業では、試験よりも面接を重視しているようだ。



## ⑥提出書類について

### <企業側に提出する書類>

- ・履歴書または、企業指定のエントリー用紙

学歴や資格などを書いて提出。

場合によってはここに志望動機などを書かされることがあるので、必ず提出前にコピーを取っておくこと。

- ・成績証明書

だいたい学部の事務室で発行してもらえる。成績が悪くてもあまり気にしない。

- ・卒業見込み証明書

だいたい学部の事務室で発行してもらえる。

- ・健康診断書

各種病院や大学の保健医療センターで発行してもらえる。

- ・推薦書

学部推薦以外の場合は内定が出た時点で担当教官に書いてもらう。  
会社によっては不要。

## ⑦就職活動全般について

### <就職活動全体の注意>

#### ・使える「つて」は使う

知り合いがいるだけで少し有利になれる。この就職難の時代、使える手は使った方がいい。

#### ・相手に失礼のないように

やむなく内定辞退することになっても、後の卒業生に悪い影響が出ないようにしてほしい。  
(内定辞退の時には自らおもむき釈明する方がいい。)

#### ・情報収集は十分に

就職関係の雑誌は山ほどでている。情報を集め、機会を失わないように注意する。

(就職ジャーナル、会社情報など)

また、セミナーで得た情報などもノートに記録するなどしておくといい。

本当にこの企業でやりたいことができるのか、企業の福利厚生はどうか、社員教育はどうか、社風はどうか、勤務地や転勤はどうか、離職率はどうかといったことをきちんと把握しておくべきである。(セミナーなどで質問するなど)

#### ・こちらも企業を選ぶのだ

就職活動は、企業が学生を選ぶだけでなく、学生も企業を選ぶのである。いろんな企業に行って自分の特性を知り、その中で本当に自分にあった企業を選ぶのが理想的な活動ではないだろうか。けして下手(したて)に出るだけでなく、堂々と自分の夢を叶える場を見つけていってほしい。

# ご静聴有難うございました。

※本資料の著作権は筆者にあり、無断転載を禁止します。

※本資料の情報が全て正確である保証はしません。

※本資料に書かれているいかなる内容に関し、筆者は責任は持ちません。

問合せ先: 山崎幸一 [k-y-77@nike.eonet.ne.jp](mailto:k-y-77@nike.eonet.ne.jp)

(問合せ先は意図せず変更することがあります。)